

第 10 回進化計算学会研究会プログラム

3 月 17 日 (木)

受付開始

- 12:50 -14:15 開会あいさつ, ポスターセッション1 フラッシュトーク (1 件 60 秒以内) & ポスター発表
- P1-1 適応 DE における理想的なパラメータ適応過程の近似
田邊遼司, 福永 Alex (東京大学)
- P1-2 階層的最適化における探索空間の重複を考慮した効率的探索手法の提案と有効性の検証
石川秀大, 久保田良輔, 堀尾恵一 (九州工業大学)
- P1-3 段階的な量子化を用いた効率的最適化の提案
大坪道弘, 石川秀大, 堀尾恵一 (九州工業大学)
- P1-4 八重芯型花火アルゴリズム
余俊, 高木英行 (九州大学)
- P1-5 PSO-FA ハイブリッドに関する考察
肖恒, 島中利治 (大阪大学)
- P1-6 重点サンプリングを用いた並列探索型 Information Geometric Optimization の提案
大内一季 (青山学院大学), 白川真一 (筑波大学), 大原剛三, 豊田哲也 (青山学院大学)
- P1-7 グラフカーネルを用いた分布推定アルゴリズムのタイプ付ノードへの拡張
半田久志, 前澤健太 (近畿大学)
- P1-8 個体生成分布の形状変化を強調する自然進化戦略
坂井信之, 小野功 (東京工業大学)
- P1-9 PSO の動的に日射量に変化する最大電力点探索への応用
明野龍介, 田中嶋孝祐, 斎藤利通 (法政大学)
- P1-10 FA に進化戦略を組み込んだ複数解探索法
大井允人, 島中利治 (大阪大学)
- P1-11 対話型遺伝的アルゴリズムを用いた二次元平面評価によるミニマル音楽自動生成システムの検討
岡部太亮, 棟朝雅晴 (北海道大学)
- P1-12 多目的最適化問題における探索進捗を用いた解析/評価法の検討
岸上利裕, 吉川大弘 (名古屋大学)
- P1-13 DTLZ 最大化問題と WFG 最大化問題を用いた NSGA-III の探索性能の調査
今田諒, 能島裕介, 石渕久生 (大阪府立大学)
- P1-14 MOEA/D の PBI を拡張したスカラー化関数の提案
土井健, 能島裕介, 石渕久生 (大阪府立大学)
- P1-15 頻出部分木を用いる物体検出法における部分木保存率の影響分析
近藤魁 (龍谷大学), 花田良子 (関西大学), 小野景子 (龍谷大学)
- P1-16 GP を用いた Realized Volatility に関する性能評価
鳥山直樹 (龍谷大学), 折登由希子 (広島大学), 小野景子 (龍谷大学)
- 14:15 -14:30 休憩
- 14:30 -17:20 特別セッション 現場における最適化 司会 梅田洋平 (富士通研究所)
- 講演 1 最適設計支援ツール Optimus と活用事例のご紹介
講師 サイバネットシステム株式会社 半澤昭光 様
- 講演 2 ビッグデータ分析における進化計算
講師 富士通株式会社 小副川健 様
- 講演 3 多目的ロバスト設計最適化支援ツール modeFRONTIER と適用事例のご紹介
講師 株式会社 IDAJ 桑原浩史 様
- 18:00 -20:00 技術交流会 (懇親会)

3月18日(金)

9:00 受付開始

9:40 -11:40 口頭セッション1 (発表 25分 質疑応答 15分) 司会 串田淳一 (広島市立大学)

01-1 空力・飛行の時系列的連成シミュレーションによる航空機着陸経路の設計探査
金崎雅博, Norazila Binti Othman (首都大学東京)
コメンテータ 内種岳詞 (理研) 渡邊真也 (室蘭工業大学)

01-2 看護師勤務表作成問題における満足解導出後の解洗練アプローチの提案
奥寺将至, 渡邊真也 (室蘭工業大学)
コメンテータ 水野一徳 (拓殖大学) 吉川大弘 (名古屋大学)

01-3 進化型多目的最適化における探索履歴を活用した探索の集中と脱出メカニズムの検討
左文字響, 渡邊真也 (室蘭工業大学)
コメンテータ 濱田直希 (富士通研究所) 佐藤浩 (防衛大学校)

11:40 -12:00 ポスターセッション2 フラッシュトーク (1件 60秒以内)

12:00 -13:00 昼休憩

13:00 -14:00 施設見学

14:00 -15:00 ポスターセッション2 ポスター発表

P2-1 デジタルカメラ画像のノイズ除去設計プロセスへのGA応用
嶺脇隆邦 ((株)リコー)

P2-2 3次元点群情報の位置合わせ法のための動的近傍を持つABCアルゴリズム
坂本祐基, 小野景子 (龍谷大学)

P2-3 テキストにおける感情情報の分析に基づく感情マークの付与
謝 孟春, 木村希 (和歌山高専)

P2-4 ABCアルゴリズムの最大電力点探索への応用
坂本秀人, 斎藤利通 (法政大学)

P2-5 貨物配置を考慮した配送計画問題における階層的解法の検討
飯田隆太郎, 堀尾恵一 (九州工業大学), 久保田良輔 (宇部高専), 石川秀大 (九州工業大学)

P2-6 適切な休暇配置を用いた遺伝的アルゴリズムによるナーススケジューリング問題の効率的解法
松山公弥, 石川秀大 (九州工業大学), 久田保良輔 (宇部高専), 堀尾恵一 (九州工業大学)

P2-7 対話型進化を用いた多目的最適化によるトータルファッショニングコーディネート支援システム
岩崎泰司, 佐藤裕二 (法政大学)

P2-8 多目的最適化を用いた金属質感推定式の構築
松本匡史, 矢田紀子, 眞鍋佳嗣 (千葉大学)

P2-9 スケールフリー行動する個体群に基づく解探索手法の評価
大西 圭, 恵崎孝成, 藤原暁宏, ケッペンマリオ (九州工業大学)

P2-10 Application of Surrogate SHADE for the Oil Field History Matching Problem
Ryoji Tanabe (University of Tokyo), Claus Aranha (University of Tsukuba),
Romain Chassagne (Heriott Watt University), Alex Fukunaga (University of Tokyo)

P2-11 対話型遺伝的アルゴリズムによる鉛筆画風画像生成の初期的検討
本田優甫, 水野一徳 (拓殖大学)

P2-12 擬似乱数の実装方法の違いによる Polynomial Mutation への影響
船越貴寛, 能島裕介, 石渕久生 (大阪府立大学)

P2-13 進化的実験計画法による統計モデルの自由度とパラメータ値の推定
内種岳詞 (理化学研究所)

P2-14 協調型共進化において Focusing 問題を引き起こすベンチマーク問題の設計
松岡淳一, 小野智司 (鹿児島大学)

P2-15 解更新に非劣解を用いる多目的カッコウ探索の提案
齊藤 仁, 千葉一永 (電気通信大学)

P2-16 NSGA-II における決定変数と目的関数の離散化による影響
米山裕乃, 船越貴寛, 能島裕介, 石渕久生 (大阪府立大学)

15:00 -15:20 休憩

15:20 -16:40 口頭セッション2 (発表 25分 質疑応答 15分)

司会 小野景子 (龍谷大学)

02-1 次元圧縮に向けた深層学習に基づく学習分類子システム

松本和馬, 齋藤嶺, 中田雅也, 佐藤寛之 (電気通信大学),
Tim Kovacs (University of Bristol), 高玉圭樹 (電気通信大学)
コメンテータ 白川真一 (筑波大学) 能島裕介 (大阪府立大学)

02-2 単純な問題のためのパレート解集合の数値的滑層分割

濱田直希 (富士通研究所)
コメンテータ 千葉一永 (電気通信大学) 半田久志 (近畿大学)

閉会あいさつ